

あーあーあー

—勢和小学校通信—

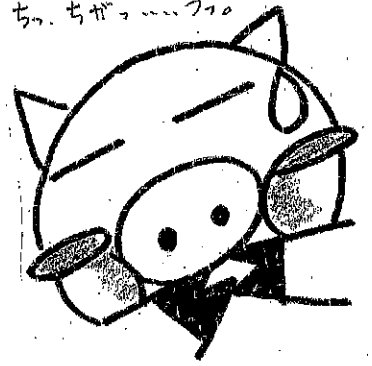
NO. 5
2021. 6. 16

こうちやうせんせいが

せんぷうまをこれたんだってヨ。

—理由を知ること—
ある日のことです。ある教室のカバに付いている「せん風き」を落としてしま

ちっ、ちがっ、……うっ



まいました。しかも、せん風が頭にぶつかって部品の一部が壊れてしまうし、それを近くで見ていたある人が、「あ

あっ!!校長先生がせん風きこれたあ。みんな、おーい」と大さわぎ。さげさげ……さげさげ……さげさげ。

「何どうした。校長先生が、何をこれたんだって。」「えっ!?校長先生が大あはれをして、せん風きをぶっこ

れたんやて。」と、どんどんうわさが広がるわ、たくさんの人があつまってくるわ。いつのまにが、すっごい悪い校長先生になってしまって……。ごめ……、ちっちが——うっ!そりではないんです。よーく聞いてください。

実は、せん風きがこわれていたんです。それをなおそうとして、ちょっと手がずぶって、頭にゴンッ。決して、悪いことしたり、あばれたりしてこれたんじやないよ。本当だよ。信じてくださいね。

イヤイヤ、一時はどうなるかと思いました。でも、みんなは、「校長先生がそんなことするわけない。」と信じてくれました。「どうしてそんなことになったか」を知ろうとしてくれたので、本当にうれしかったなあ、たすかったなあ。

バナナ記念日

—すてきなおしゃべり—

3年1組のみんなとお話をするチャンスがありました。何を話そうかなあと考えて、「6月9日は、校長先生にとって記念の日です。『けっ……』』と言いかけてました。すると「あっ、わかった。『バナナの皮ですってころんた日や』といふ予想が返ってきました。校長先生のお思ひが「そうそう、あの日はバナナの皮がいっぱい落ちていて、すべりまくってまあ……。オイオイ、ソナワケナイン」と、こたえていました。

こんなふうに、あっちこっちに話すすんで、時間がすぎて、担任の石田先生がもどって来てすべてを話せませんでした。……いかにこのことが面白かったか。な人が「6月9日は、校長先生がバナナの皮ですってころんた記念日」と覚えられてしまったのではないかなあ」と、ちょっと心配です。でも、あっちこちにすすんだ話はとても楽しかったし、「どうしてこんな考えが思いつくのたろ」と、1組の人たちのすごさも感じる事ができたし、「よい時間をすごせた。」と思う校長先生でした。また、いつかお話をさせてね。

